

特別寄稿

語る!

4



佐藤栄佐久氏 (郡山の自宅で)

高校、
大学時代

■私のモラトリアム

いわきの誇る炎のマエストロ、コバケンこと、小林研一郎さんは正確には私の一学年下ですが、私にとっては同時代の風を受けていた人と思えます。

デビューは昭和四十九年。同年の第一回ブダベスト国際指揮者コンクールで第一位、特別賞を受賞。その後、プラハの春などの音楽祭で指揮を

舞台で『かあさんの歌』披露

原発とは大学時からの縁？

執り、一躍、世界に名を馳せました。あれは平成十八年。思えば、知事を辞職する直前のころでした。

いわきでコバケンさん指揮の演奏会が行われるというところで、吉田栄重先輩、内山弘一先輩など、いわきJ.CのOBたちが、知事も聴きに来いとこの命令でした。

演奏はコバケン

すると、いわきの友人たちは話はいいから「コバケンのピアノで知事も歌え」とはやすのです。

自慢じゃありませんが、私

は話も下手ですが、歌はもつとひどいと、自負しておりますので、「冗談じゃない」と思い、降りようとしても許してくれません。

そんな私を横目に、コバケンさんまでピアノの前に座って、何にしましようか、などと言っています。

私は、もうどうにでもなれ、という気持ちになって「かあさんの歌」を歌いました。

さて、高校時代。生徒会長として「始末書」事件などはありませんが、安積高校を無事卒業。思いがけず「高山樗

駄になり、革靴は修学旅行の一カ月前から初めて許可された時代でした。

私の家から安高へ行くには、途中、安積女子高を通るのですが、当時は「安女の前を通ってはいけない」というルールで、わざわざ回り道をして行くのです。まさに、望外の腹筋力でした。

昭和三十三年四月、東大に入学したのはいいのですが、今の言葉で言うと、五月病とでもいうのでしょうか、私は二期の終わり頃から「自分は一体何のために大学にきたのか、何をしたいのか、なりたいたいのか、人生はこれでいいのか」と、遅まきながら悩んでしまうのです。

「生きるとは何か」

一つには、『岩波茂雄像』Ⅱ写真Ⅱを読み、一高時代同じ寮の友人、藤村操が「人生不可解也」と、華嚴の滝に身を投げたショックで一年間、野尻湖の寮にこもったことなどに感銘。そして、その疑問を我がことのように受け止め、生きるとは何か、それまで思ったことも考えたこともない問いにとらわれてしまったのです。

当時、東大駒場のクラス担



任が原田義人先生というドイツ文学者でした。原田先生は私の子供っぽい悩みを真剣に聴いてくれたものでした。その年の東大新聞に、「一冊の本」という題で、一冊の本が青年に与える影響について心に滲みる文章を書いてくれました。

カメラマンなどはそのあと部屋に戻りませんでした。マイアーという女性記者は気丈にも最後までインタビューをし、その記事が五月号に載りました。

先生はこの本を翻訳している途中、病気で亡くなられましたが、先生の弟子たちが最期まで引き継ぎされたと、後書きに載っておりました。

原田先生とのお縁を五十年の年月を経て、改めて感じております。

● 続く

著者プロフィール 佐藤 栄佐久 (さとらう・えいさく)

1939 (昭和14) 年6月24日生まれ。福島県郡山出身。県立安積高校、東京大学法学部卒。青年会議所活動などを経て83年の第13回参議院選挙に自民党公認で出馬、当選。88年、参議院議員を辞職して同県知事選に出馬、以後、5期連続当選。

知事在職中は、教育、環境問題に尽力する一方、東京一極集中、道州制などについて否定、さらに、政府、電力会社が進めるプルサーマル計画の導入についても反対を唱えるなど、“戦う知事”として県民の人気を集めた。ところが、県発注のダム工事に伴う「汚職事件」に関与したとされる実弟の逮捕によって、県政を混乱させた責任をとり、2006年9月、5期目の任期途中で辞職。その後、自身も逮捕される。12年10月、最高裁は弁護側、検察側双方の上告を棄却、懲役2年・執行猶予4年の最高裁判決が確定した。

☆ *高裁の判決は、「有罪」とする前提がすべて崩れているにもかかわらず、「無形のわいろ」や「換金の利益」といった従来の法の概念にはない不思議な理論と論法で「有罪」とした。この結果、「罪自体が不明」とし、「冤罪」を指摘する声も大きい。

☆ 著書に、『知事抹殺一つくられた福島県汚職事件』などがある。現在は、全国各地で国の体制・体質、原発問題などについて講演活動を展開中。

美しい写真とともにおくる、いわきのしられざる歴史と文化。読み終えたあと、いつもの風景が違って見えてくるはずです。

写真 / アクアマリンふくしまの夜景 (撮影・赤沼博志)

大好評発売中!

歴史春秋社 TEL.0242(26)6567 FAX.0242(27)8110

オールカラーでおくる、まるごと1冊いわきの本

いわき

◆オールカラー / 158頁 定価 / 2,100円 (税込)